



Salesforce

生成AI

開発・運用効率化

プロンプト集



Salesforce運用効率化「AI活用プロンプト10選」

01 使用ルール

実務の各フェーズ（要件定義、設計、設定、開発、運用）で即戦力となるプロンプトを10個厳選しました。

これらをコピー&ペーストし、[]の部分を具体的な状況に書き換えてお使いください。

02 プロンプト実例一覧



カテゴリ

シーン

【要件定義】 ビジネスプロセスの整理

現場の要望をどうシステムに落とし込むか悩んでいるとき。

プロンプト：「あなたはSalesforceのシニアコンサルタントです。[特定の業務プロセス：例、リードから商談化までの流れ]をSalesforceで標準化したいと考えています。現状、現場では[課題：例、Excelでバラバラに管理されている]という問題があります。このプロセスをSalesforceの標準機能（リード、商談、活動など）で管理するための最適なステップと、入力すべき必須項目、各フェーズの定義を提案してください。」

【データ設計】 オブジェクト構成の最適化

カスタムオブジェクトを作るべきか、標準機能で済むか迷ったとき。

プロンプト：「[新しい管理対象：例、サブスクリプション契約の更新管理]を実装したいです。標準の『商談（Opportunity）』オブジェクトを拡張すべきか、カスタムオブジェクトを作成すべきか、Salesforceのベストプラクティスに基づき比較検討してください。ガバナ制限、レポートの作りやすさ、将来的な拡張性の観点も含めてお願いします。」

【設定】 数式項目の作成

複雑な条件分岐が必要な指標を作るとき。

プロンプト：「Salesforceの数式（数値型）を作成してください。条件：[条件1：例、完了予定日が今月以内] かつ [条件2：例、金額が100万円以上] の場合は『Aランク』、それ以外で金額が50万円以上の場合は『Bランク』、それ以外は『Cランク』と表示させたいです。コンパイルサイズを抑えた、効率的な数式を教えてください。」

【設定】 入力規則（バリデーションルール）

データの品質を保つために、特定の条件下での入力を制限したいとき。

プロンプト：「以下の条件でSalesforceの入力規則を作成してください。条件：商談のフェーズが『商談成立』になったとき、カスタム項目である『受注理由（ピックリスト）』が未入力であればエラーを出したい。ただし、プロファイルが『システム管理者』のユーザーだけは例外として保存を許可する数式を書いてください。」

【自動化】 フロー（Flow）のロジック構築

複雑な自動化処理を作りたいが、どう要素を並べるべきか知りたいとき。

プロンプト：「レコードトリガーフローの設計書を作成してください。要件：[オブジェクト名][項目名]が[特定の値]に更新されたら、関連する[子オブジェクト名]をすべて抽出し、その[項目名]を[新しい値]に一括更新したい。

1.開始条件の設定 2.使用する要素（取得、ループ、割り当て、更新）の順番 3.大量データ処理（バルク化）を考慮した注意点、を順を追って解説してください。」

Salesforce運用効率化「AI活用プロンプト10選」

カテゴリ

シーン

【開発】 Apexトリガーの雛形作成

標準機能では届かない複雑なロジックをコーディングするとき。

プロンプト：「[オブジェクト名]のApexトリガーを作成してください。要件：[要件の詳細：例、取引先責任者が作成された際、同じメールアドレスを持つ既存の取引先責任者がいればエラーを出す]。制約：ハンドラクラス形式（Trigger Handler Pattern）を採用し、一括処理（Bulk）に対応したクリーンなコードを書いてください。また、カバレッジ100%を目指すためのテストクラスも併せて出力してください。」

【開発】 LWC（Lightning Web Component）のUI作成

標準画面では実現できない、独自の操作画面を作りたいとき。

プロンプト：「SalesforceのLWCを作成してください。画面構成：[構成：例、検索窓があり、ボタンを押すと関連する商談をリスト表示する]。lightning-datatableを使用し、特定の行を選択して[アクション：例、一括削除]ができる機能を含めてください。HTML, JavaScript, XMLファイルをそれぞれ出力してください。」

【移行・分析】 データクレンジングの戦略

外部の古いデータをSalesforceに移行する前。

プロンプト：「Excelで管理していた[件数：例、5000件]の顧客データをSalesforceの『取引先』と『取引先責任者』にインポートします。データには重複や表記揺れが多いです。インポート前にExcelで行うべきクレンジング項目と、インポート時に外部ID（External ID）をどう活用すべきか、シニアコンサルタントの視点でガイドラインを作成してください。」

【運用】 レポート・ダッシュボードの設計

経営層に刺さる可視化を行いたいとき。

プロンプト：「[役割：例、営業部長]が毎日チェックすべきダッシュボードの構成を提案してください。目的は[目的：例、パイプラインの健全性と今月の着地見込みの把握]です。必要なレポートタイプ（商談、活動など）と、具体的に配置すべきグラフ（フェーズ別積上げ、前年比など）を5つ挙げてください。」

【トラブル対応】 デバッグとエラー解決

ユーザーから「エラーが出て保存できない」と言われたとき。

プロンプト：「Salesforceで以下のエラーが発生しました：『[エラーメッセージのコピー：例、System.LimitException: Too many SOQL queries: 101]』。このエラーが発生する主な原因と、解決するためのコードの修正方針（または設定の確認箇所）を教えてください。特に[関連するフローやコード名]に問題がある可能性があります。」

03 注意点

※環境固有の「API参照名」は自分で入れる必要がある

- AIはあなたの環境のカスタム項目名（Total_Amount_c など）を知りません。生成されたプロンプトの項目名は、自分の環境に合わせて打ち替える必要があります。

※最新機能への対応

- Salesforceは年3回アップデートされます。「以前はこのやり方だったが、今はこっちの機能（例：ワークフローからフローへの移行）が推奨」という細かいニュアンスは、AIに「最新のベストプラクティスで」と念押しする必要があります。

※セキュリティと権限の考慮

- AIは「動くもの」を作りますが、「誰に見せてはいけないか（権限セット）」までは考慮しきれないことが多いです。そこはコンサルタント（人間）の目で最終確認が必要です。